

取組実績の概要（2 ページ以内）

兵庫県立大学は、平成 16 年度に神戸商科大学、姫路工業大学、兵庫県立看護大学を統合してスタートした大学で、現在、学部として 6 学部（経済学部・経営学部・工学部・理学部・環境人間学部・看護学部）がある（経済学部・経営学部は令和元年度より、国際商経学部・社会情報科学部に改組した）。

本事業は、平成 28 年度から令和元年度までの 4 年間にわたり、環境人間学部（※）をモデル学部として兵庫県立大学教学マネジメントモデルを構築するものである。事業終了後の令和 2 年度からは、モデル学部での成果を活かして大学全体の改革（以下「全学展開」と略す）を進める取組を開始している。

※文理融合型の学部で 1 学部 1 学科制（環境人間学科）をとっている。1 学年定員 205 名で、4 つの系（人間形成系、国際文化系、社会デザイン系、環境デザイン系）と 1 つの課程（食環境栄養課程）の教育プログラムを有する。課程学生（40 名）は入学時から課程に所属するが、系学生は 2 年次進級時に、学生の興味・関心や将来的な希望によって系選択し、それぞれの系の専門を学ぶ。

兵庫県立大学 AP 事業の取組実績の概要**全学的な共通教育の改革**

兵庫県立大学の教育ビジョン「地域社会や国際社会で活躍する人間性豊かな人材の育成」を具現化するため、本事業年度開始である平成 28 年度に全学共通教育の抜本的な見直しを行った。具体的には、全学共通教育の卒業認定・学位授与の方針（Diploma Policy：DP）と教育課程編成・実施の方針（Curriculum Policy：CP）、推進体制と教学マネジメント等を整理した「全学共通教育改革の基本計画」を策定した。これらに基づいて平成 29 年度から新しい全学共通教育をスタートさせており、現在は全学的に実施できている状況である。

環境人間学部における教学マネジメントの構築と全学展開

本事業では、環境人間学部を対象に全学展開のための教学マネジメントモデルを検討した。平成 28 年度から令和元年度までの 4 年間で行った取組の概要は以下の通りである。

平成 28 年度

1. DP に関連するジェネリックスキルを自己評価できるルーブリック（基礎力ルーブリック）の開発
 - ・ DP に関連するジェネリックスキルを分類し、環境人間学部基礎力（以下「基礎力」と略す）へと整理
 - ・ 基礎力の内容と各科目担当教員への授業法調査の結果に基づいて基礎力ルーブリックを作成
2. カリキュラム・マトリクスの作成
3. 基礎力を客観的に可視化・評価できるアセスメントテスト（PROG）の実施
 - ・ DP 関連の評価指標を有し、WEB ポートフォリオ開発を効果的に推進できる委託業者を選定
4. 基礎力ルーブリックや PROG 等の DP に関連するラーニング・ログの一元管理と蓄積が可能な兵庫県立大学版 WEB ポートフォリオ「My ログ：自分デザインサポートシステム（以下「My ログ」と略す）」の開発
 - ・ 主観（基礎力ルーブリック）と客観（PROG）の両面で学生の学修成果を可視化
 - ・ カリキュラム・マトリクスに基づく科目検索機能により、強化したいスキルに対応する科目を参照可能
 - ・ 学生の PDCA サイクル（学修サイクル）の補助ツール「プロジェクトシート」を設け、基礎力の現状に基づく活動テーマ、目標設定、行動計画、活動の振り返り、活動記録の添付等が可能
5. 基礎力ルーブリック、アセスメントテスト（PROG）、My ログを用いた学修支援体制の構築
6. AP 事業評価委員会の設置による学外有識者等の事業評価体制の構築
 - ・ 構成員：学識経験者、高校等関係者、企業等関係者、本学の学生

平成 29 年度

7. 基礎カールブリック、アセスメントテスト (PROG)、My ログを用いた学修支援の実施
 - ・ 学部1年生を対象に、前期必修科目と後期出席必須のコースガイダンスにて実施
8. 入学者受入れの方針 (Admission Policy : AP) による推薦入試方法と面接補助ツールの開発
 - ・ 開発前に新入生調査と PROG を用いて AP に適合する学生を選抜できているかを検証
 - ・ 検証結果に基づいて AP に適合する学生選抜のための面接手順と項目を考案し、面接官の評価のばらつきを抑えるための面接補助ツールを開発
9. 推薦入試方法、面接補助ツールに関する FD の実施 (学部での共有)
10. 全学的 FD・SD の実施による事業の中間成果報告 (全学への共有)
11. 広報用パンフレットおよびホームページの作成

平成 30 年度

12. カリキュラム・マップの作成
13. 基礎カールブリック、アセスメントテスト (PROG)、My ログを用いた学修支援の実施
 - ・ 4-5 月に教員向け説明会、7 月に 1 年生必修科目「環境と人間」にて実施
14. My ログの活用と事業への理解促進を目指したパンフレット (学生・高校生用) およびホームページの作成
15. 兵庫県立大学版ディプロマ・サプリメント「学修履歴証明書」の開発
 - ・ 10-11 月に企業の採用担当者等 5 名にヒアリング調査を実施し、得られた意見を基に開発

令和元年度

16. 基礎カールブリック、アセスメントテスト (PROG)、My ログを用いた学修支援の実施
 - ・ 4-6 月に教員向け説明会、6 月に 1 年生必修科目「環境と人間」にて実施
17. 全学共通の LMS (Learning Management System) 上での学修履歴証明書発行システムの構築
18. AP 事業推進委員会 (7 月・10 月の 2 回開催) による全学展開のための調査・計画立案
 - ・ 各学部を対象とした教学マネジメントの進捗状況調査の実施
 - ・ 各学部の現状に応じた取組を実施するための全学展開に向けたロードマップの作成
19. 兵庫県立大学環境人間学フォーラム・AP 事業成果報告会の実施 (11 月)
20. AP テーマ V 全国シンポジウム (12 月) での取組成果の情報発信

【必須指標の達成度】

	平成 28 年度 (起点)	令和元年度	
		目標	実績
学生の成績評価 [GPA 平均]	2.58	3.0	2.7
学生の授業外学修時間 [1 週間あたり]	8.99 時間	38.0 時間	9.24 時間
進路決定の割合	99.4%	96%	99.5%
事業計画に参画する教員の割合	100%	100%	100%
質保証に関する FD・SD の参加率	75%	100%	100%
卒業生追跡調査の実施率	71%	50%	88%